

# 第八回 福島縣 保育會の模様

福島縣保育會に於ては十一月十、十一の兩日に亘り第八回縣保育會を開催したり。次ぎに録載するは同會の順序及び同會提出問題に對する郡山幼稚園と二本松幼稚園との答案なり。

十一月十日

一、實地保育參觀(午前八時半ヨリ四十分間)

一、會 議

1 開會(午前九時半) 會場 二本松第二小學校

2 開會ノ辭並ニ祝辭

3 研究

4 協議

5 談話又ハ實驗談

6 休憩(晝食)

7 實地保育ノ批評會(午後一時ヨリ)

8 談話又ハ實驗談

9 遊戲實習 二時間(午後二時十五分ヨリ)

10 閉會(午後四時十五分)

11 閉會後遊戲交換

一、通俗保育講演會(午後六時半ヨリ) 二本松第一小學校

十一月十一日

一、遊戯講習

開會(午前八時半)

1 理論ノ講話 一時間

2 實習 二時間

休憩(晝食)

3 實習 二時間(午後〇時半ヨリ)

閉會(午後二時半) 以上

問題

一、研究題

1 幼稚園に於ける祝祭日及滿了式等の儀式を

幼兒本位に舉行する良法如何(喜多方幼稚園)

2 保姆を年齢上より見たる得失長短如何(若

松幼稚園)

3 幼兒に對し方言を矯正する必要の有無及其

程度如何(同上)

4 積雪の場合に於ける遊園の利用法如何(須賀川幼稚園)

5 幼稚園服裝の標準につき特に研究せられたる様式如何(二本松幼稚園)

6 幼稚園に於て設備すべき適當なる運動器械の種類製作注意及其效果如何(同上)

7 幼兒の「トラホーム」濕瘡「シラクモ」に對する適當なる處置如何(福島幼稚園)

8 幼稚園に於て飼育するに最も適當なる動物即ち簡易にして費用を多く要せざるものは何々なるか(同上)

## 一、協議題

幼稚園保姆養成機關を設けられんことを縣知事に建議する件(郡山幼稚園)

## 一、談話題

1 幼兒個性の矯正助長につきて實施せらるゝ良法承りたし(郡山幼稚園)

2 會集の方法承りたし(同上)

3 如何なる砂場が最も幼兒の遊びに適するか築造の方法承りたし(福島幼稚園)

4 大人じみたる幼兒の取扱につきて(實驗談) 保姆松山いね

5 幼兒具體性の一例(實驗談)

6 恩物六絨の使用法を承りたし(喜多方幼稚園)

7 雨天の際室内に於ける遊び方につきて其良法を承りたし(同上)

8 幼兒の習慣につきて(實驗談) 保姆須子とみ

## 一、遊戯交換

大正幼年唱歌 第七集 お星様 第九集 イ

ルミネーション等につきて唱歌遊戯御研究の園  
あらば承りたし又交換したし(喜多方幼稚園)

以上

# 研究の結果

## 郡山幼稚園答案

### 研究題

◎幼稚園に於ける祝祭日及満了式等の儀式を幼児本位に舉行する良法如何(喜多方幼稚園)

幼稚園に於ける儀式を別ちて二つとする、一は祝祭日に於ける儀式、一は満了式に於ける儀式これである。

本題は幼児本位に舉行するといふ點を主眼とするのであるから、以下其積りで述べて見やう。そして儀式は又これを舉行の形式より見たるものと幼児の心理上より見たるものとの二方面から研究することが出来る。

### 第一、祝祭日の儀式

祝祭日の儀式は壯嚴を旨とするから形式上に於ては相當に嚴肅なるを要す。

一、舉行の形式上より見たる點

1 國旗の掲揚と國旗の昇騰(國旗の掲揚は殊更に言ふまでもない、國旗は平素使用のものを避けて儀式用特製のものを幼児と共に昇騰したい。

2 裝飾 室の内外の裝飾は平素と異りて莊嚴の氣を呼ぶだけのものを要する。

3 排列 幼児の排列は平素の圓形を避けて小學校的に縦隊にするを可とする。

4 勅語奉讀 國民として是非なかるべからざるもの。

5 最敬禮 御眞影を奉戴せざる園にては宮城の方向に向ひて遙拜する。

6 服装着袴を本位とする

二、幼児の心理上より見たる點

1 式時間 舉式の時間は長くとも三十分間を極度とする。

2 着席 幼児の着席し終るまでは模擬をなさしむる。

3 園歌 同歌は園精神の歸結であるから儀式中に合唱せしむる。

4 唱歌 同詞は幼兒に適したるものを撰ばねばならぬ。

5 講話 幼兒の心理を解せざる人の講話は成るだけ避けたい、さうして其講話も成るべく簡單なるを要す。

6 用語 訓示及講話に於ける用語は幼兒の解し得らるゝ平易のものでなければならぬ

7 其他 (イ)入場前に幼兒の小用を便せしむること。(ロ)紀念すべき菓子を與へる。

(ハ)紀念菓子は來賓及職員の手より贈與する。(ニ)式後は遊戯をなさしめたい。

## 第二、證書授與の儀式

満了式は園兒の最も愉快とするものなれば壯嚴の中にあたゝか味を加へたものにありたい。

### 一、舉行の形式上より見たる點

1 國旗及園旗 祝祭日と同様。

2 裝飾 室の内外は祝祭日よりも更に温味の加はりたる幼兒らしき裝飾をこらすこと

3 排列 祝祭日と同様なれども満了幼兒はすべての動作に都合よき處を撰ぶこと。

4 勅語奉讀 祝祭日と同様。

5 報告 要點を印刷に付し置きて來賓保護者に配り式中には省略するか若くは大體のみを報告すること。

6 證書並賞狀賞品授與 幼兒各自に與へ總代を舉げぬこと。

7 服裝 祝祭日と同様。

8 招待員 保護者 幼兒直接關係者(小學校職員隣地の方々)等を招ぐ。

### 二、幼兒の心理上より見たる點

1 式時間 成る可く短時間に終らしめ長くとも一時間を超えぬこと。

2 着席 祝祭日と同様。

3 園歌 園旗の昇騰降納又は其他の場合に

合唱すること。

4 唱歌 祝祭日と同様。

5 用語 祝祭日と同様。

◎保母の年齢上より見たる得失長短如何 (若松幼稚園提出)

人間の眞價否人の働き振りは年齢の多少によりて一概に定むることは出来ぬ。其人の精神如何によつては年齢若くとも老者を凌ぐものがあり年老いたりとして若年のものゝ及び難き人もあるされど強て本問題を研究すれば我幼稚園としては普通一般的に老若の大體より其得失長短とも見るべき點を列擧しに過ぎない。

老者に對する研究

○得とする點

一、精神方面より

1 注意周到

2 常識圓滿

3 技能圓熟

4 幼兒取扱親切

5 判斷力決斷力あり

6 幼兒の性情に通ず

7 禮儀作法正し

6 其他 祝祭日と同様なれども更に紀念寫

眞帖在園中の製作物を配布すること。

○失とする點

1 研究心乏し

2 愛嬌に缺くるあり

3 我意を張ることあり

4 小刀細工に陥り易し

8 質素にして着實

二、身體方面より

- 1 鍛練されるものあり
- 2 身體の變化少し

三、家庭方面より

- 1 家庭的に幼児を取扱ふ
- 2 境遇上の變化少し

四、社會方面より

- 1 比較的社會の信用あり
- 2 社交的態度に通ず

五、經濟方面より

- 1 經濟思想に富む
  - 2 廢物を教育に利用す
- 若者に對する研究

○得とする點

- 1 體力不十分のため幼児の相手に不足なり
- 2 些細の故障にもよく缺勤することあり
- 3 元氣なきため活潑なる遊戯作業に不十分な

り

- 1 早歸遲參多きものあり
- 2 缺勤勝なり
- 3 勉強の時間少し故に學力退歩の恐れあり

- 1 社交的關係多きために公私を混同し社會の  
物議を惹起することまゝあり

- 1 經濟にとらはれまゝ人後に落つるの恐あり
- 2 年功の上より報酬過分なるあり

○失とする點

一、精神方面より

- 1 向上進取の心強し
- 2 愛嬌多し
- 3 熱心になり易し
- 4 命せられたることをよく實行す

二、身體方面より

- 1 元氣旺盛にして幼児の相手によし
- 2 病氣により缺勤すること少し

三、家庭方面より

- 1 係累なきため専心精勤なること
- 2 勉強の時間あり

四、社會方面より

- 1 向上進取の心強きため社會に認めらるること早し

- 
- 1 不注意にして常識に乏し

- 2 判断力決断力に乏し

- 3 動搖の性多し

- 4 感情に支配され易し

- 5 悲觀厭世の風生じ易し

- 6 氣力に乏しきことあり

- 7 兎角に外形を裝ふ傾向あり

- 
- 1 生理上の故障より幼児に對し苛酷に失することあり

- 1 勤續年數少し

- 
- 1 大局に着眼せず

- 2 風紀問題を起し易し

- 3 威信を落すことあり

## 五、經濟方面より

### 1 薄給にて雇ふことを得

◎ 幼兒に對し方言を矯正する必要の有無及其程度

如何 (若松幼稚園提出)

方言とは何ぞや一地方に限られたる特有の言語である。

これが研究は地理的方面からも歴史的方面からも實に趣味の津津たるものがあつて捨て難いものであるされど本問題は性質上そのやうな専門的研究に走る事は許さぬよつて暫く幼兒の方言を矯正する必要の有無及其程度如何について研究を試みやう。

一、國家と方言 國民思想の統一上より論じたらば一地方に限られたる方言は是非とも矯正して一定したる標準語に改むべきが至急であらふ而してそれが又國家の要求する所であらねばならぬさりながら一方民族的結合が方言によつて

### 1 經濟的頭腦杜撰なり

### 2 廢物を教育的に利用する考薄し

保たれたる事實を知らば一概に方言矯正を叫ぶべきものでなからふと思ふ況して方言は一地方に瀰漫し衍布しあるもの一、二の人の力で到底矯正し盡し得べきものではない何は兎もあれ方言の利害より考へて見やう。

二、方言の利害 理想より言はゞ所詮方言は矯正すべきもの矯正されべきものであらふ、けれども前項の如く捨て難きふしもあり矯正され難き事情もある、まして地方的見地よりはなかく利益とする點もあるのである。

### 1 方言の利とする點

イ 方言には實に一種いふべからざる興味があり融和力がある

ロ 方言は地方通用上實に普遍的であつて便利である。

ハ 方言は地方の團結力をして強固にする。  
ニ 方言は幼年少者の理解力を速ならしむ。  
等これである。實に地方的範圍が狭いのは仕方がない而して方言の害は確に國家的で關係する處が廣い。

## 2 方言の害

イ 方言の瀾漫は國家の大統一を缺く。  
ヒ 方言の固執は大團體の結合を弱くする。  
ハ 方言の使用は自然に個人を偏狹ならしむ  
ニ 方言は處世上に不便不利を醸すことが多い。

而してこの方言なるものを幼兒の境遇より見る時は如何であらふか。

三、幼兒の境遇上より見たる方言 方言は國家から見ると矯正すべきものであるが之を幼兒の境遇上より見ると矯正する事の甚だ至難で寧ろ矯正の必要なしと云ふて然るべしと思ふ。

由來方言の如き一郷一地方に涉りての省俗は一

人一個に關せる缺點短所とは違ひ小人數の力にては如何ともする事の叶はぬものである。大厦の將にくつがへらんとする一木の得て支ふべからざるは理の當然である。

若し眞に方言矯正を望むならば大々的に一地方の各種團體等大舉してこれに當るべきものである。勢力微弱なる幼兒に迫りて方言矯正の害をあげんとするは大海の水を小貝にてすくふが如きものである決して幼兒をせむべきものではない。試に幼兒の境遇を見よ家庭にありても地方にありても勢力殆ど皆無にして僅少なる幼稚園の幼兒が正しき言語を用ふることありとしても家人も郷黨もどしどし遠慮なく方言を使用するならば如何彼れは忽ち軟化されて幼稚園が施したる切角の骨折も全く無効となり甚しきは衆人の嘲笑を買ふことがあるであらふ。さすれば幼兒は自然正語を用ふるを避くるに至るであらふ幼兒は先生の命を守らんか衆人の嘲笑を如何と

いふ様な殘酷なるはめに陥り案外なる苦痛を感じるに至るであらふと思ふ故に我幼稚園は幼児に方言矯正を強ふべからずと思ふのである。されど誤る勿れ敢て方言使用を奨励せんとするものではない大に方言矯正に心掛けそれ／＼手をつくす所あるべきである。果して然らば方言に對して保姆のとるべき態度は如何。

四、保姆と方言 保姆は幼児の師表となるべきものである。幼児に對しては常に師範を示さねばならぬものである、言語の如きとりわけ正しき標準語を使用して幼児に應對すべきものである彼の模倣性に富める幼児がその信賴せる保姆の一言一句にいかにかに耳を傾け深き注意を拂ふであらふを保姆の正しき用語は不知不識の間に幼児の言語を形成するものである。されば保姆たるものその使用すべき言語は正しき標準語であらねばならぬ然る時は幼児の方言も自然に矯正されて正しきものに導いて居られるものであるこ

とを忘れてはならぬ。正に矯正を強ふる前に正しきを示すべきである。

五、方言矯正の程度 幼児の方言は奨励すべからざるものにしてよろしく矯正すべきものなりとせばいかなる程度にこれをなすべきか、次に來る研究すべき問題である。

今其程度如何につき重なるものを左に列舉して見やう。

1 通用範圍の極めて狭きものは之を矯正すべし。

2 野卑なる方言は矯正すべし。

3 方言を使用せるものありとてこれを犯罪視すること勿れ。

4 幼児の知識經驗に適合したる方言は默許して可なり。

5 幼語と方言とを混同する勿れ幼語を使用するは毫も差支なきことなり。

6 而して方言を直下に矯正することなきも正

語を會得せしむることに怠るべからず。

◎積雪の場合に於ける遊園の利用法如何

(須賀川幼稚園提出)

冬季に於ける積雪は天より興へられたる趣味と實益とに富む自然の恩物である如何に相當なる設備を有する園と言へども之を利用することがなかつたならば幼児に對して誠に罪なこと、思ふ故に積雪の場合には我幼稚園に於ては次の如き方法によつてこれを利用し幼児の身心を鍛錬しこの意味ある恩恵に報いつゝあるのである。

一、男幼兒の遊戯 男幼兒の遊戯とはいふもの、女幼兒が出来ぬといふことではない。ことゝ場合によつては女幼兒にさせて差支ないばかりが大に喜んでするものである。

1 雪だるま 主として協同的に作製せしめ、幼兒相當の考案を施さしむ而して「雪だるま」の唱歌を合唱して快を盡さしむ。

2 雪投げ 幼兒は天性活動的なものであるか

らこれによつて勇壯活潑なる精神と小さな護國の精神とを涵養することが出来るこの場合に於て女幼兒には雪丸の製作に當らしめ舉國一致といふ崇高なる精神をも養ふことが出来る。

3 雪の山 幾つかの雪だるまを作りそれを集めて空所を巧に他の雪にて埋め大なる雪山をつくらしめるのである工夫創作の想を涵養することが出来る。(女兒を加へて共に作らしめてもよい)

4 雪のトンネル 雪の山同様に工夫創作の想を練るに適應するものであるそのトンネルが大なれば大なる程快哉を叫ばしむるに足るそしてこれを利用していろいろ遊戯も出来る。

二、幼兒の遊戯 女幼兒とは云ふものゝ前同様男幼兒にも行はせて興がるものが多い。

1 雪つり 木炭或は松笠などを糸にてつるし雪をつり上げて大なるものにするが面白いの

である手指は凍えて冷たからふにそれさへ打忘れて競ふて大ならんものを作らふとする他所目に見るもやさしきあそびである。

2 雪搔き遊び 男幼児も好むが女幼児には尤も相應しいあそびである雪べらを以て少しばかりの雪をすくひ上げては散らし又ははき寄せて嬉戲するのである。

3 雪兔 盆か板の上に兔を作つて遊ぶものである女幼児の遊びとしてば誠にやさしい。

三、男女幼児の協同作業 雪はきは公共思想の涵養にもなるから是非させたいこれには或る指導のもとに保姆も幼児と共に作業するのである、道路庭園といふ太した事でなくとも軒下玄関前などを掃くのであるこれがために玩具として子供用の雪べらを園に二三十本備へておく。

○幼児服装の標準につき特に研究せられたる様式如何 (二本松幼稚提出)

幼児の服装については各園特殊の意見があつて

種々な様式をとつて居る様である我幼稚園にては設立の當時より幼児は筒袖に帯を締め白のエプロンをかけ必ず草履を携帯するといふことにきめて置いたので今はそれが當園の制服といふ風になつてしまつた。今左に當園に於ける服装の一般を具體的に述べさうして少しばかり研究したことを参考のため掲げて見やう。

一、服について

1 服装 園児は一般に筒袖を着、帯を締め白のエプロンをかけて居る。

2 エプロンの地質 木綿(天等)が最も優良であるからこれを奨励して居るネル、キャラコでも差支はない。

3 袖 幼児の運動及作業を敏活ならしめんがため筒袖となし長袖の如きは絶対に禁止しておく。

4 帯 園児には皆帯を締めさせて必ず後にて結びしむ一體帯を結ぶといふことは幼児ばかり

りでなく誰でも其精神を端整ならしむる上に  
効果がある。

5 儀式の服 男女とも着袴を本旨として居る  
尊嚴なる儀式には平素と異つた氣分を持たせ  
たいからである。

6 研究せる服 黒の洋服裏地を用ひフレーベ  
ル館考案ものをよしとして居るが經濟上から  
容易の事でないので未だ採用しないで居る。

二、帽子に就て 當園にては未だ實施しては居ら  
ぬが遠からず男幼兒に向つて制帽を冠らせたい  
と思ふて居るその帽子は幼兒らしきものをしや  
うと考案中である。

三、草履に就て 當園では上下二足を携帯せしめ  
ておく。

1 上草履は家庭に於ても必ず履かしめ疊敷の  
清潔を保たしめなくてはならぬわけて便所に  
於て上草履の使用を忘れてはならぬ。

2 下草履は運動を敏活になし得るの便がある

ばかりでなく危険を避くることが出来る。

注意 遊戯室に於ける跳躍運動を行ふ場合に  
は上草履をぬかしめて居る。

四、徽章 園の徽章は是非制定してほしいものだ  
これによつて園精神の歸結が出来るつまり徽章  
は園旗の縮小で實に尊いものである。これを男  
子に用ひてはその帽子を飾り女子に用ひてはそ  
の胸を飾るのである。

◎幼稚園に於て設備すべき適切なる運動器械の種  
類製作、注意及其效果如何

(二本松幼稚園提出)

本研究題は幼兒保育上については一時も忽にす  
ることの出来ぬもので一朝一夕に解決すると云  
ふことは容易な業ではない。しかし乍ら本縣下  
の趨勢を見るに幼稚園は年を追ふて増加し今や  
十四かになり居るもの故これが研究をせぬとい  
ふことは由々しい大事といふべきであるしかる  
に我縣保育會にてはこゝに着眼せられ本題につ

き研究することゝなつたのは實に斯道のため喜ぶべきことであらうと思ふ。それで我幼稚園に於て目下研究しつゝあるものを室内と室外とに別ち又更に團體と個人とに區分し以下列舉し參考に資せんと思ふのである。

### 第一、室外に於ける運動器具

一、團體的に使用するもの

1 競争に屬するもの

イ 綱引 製作上強き綿糸を以て繰り成る

べく細きを可とす効果は言はずとも忍耐

心と共同一致心とを養ふ。

2 協同的に屬するもの

イ シングルベルス 革製の紐二人若くは

三人にてお馬どうくをして遊ぶもの。

ロ 鐵砲。

ハ 旗。

ニ 押車 種々のものを載せて運搬して遊ぶ

ものである。

ホ 大積木 煉瓦大の木製積木で、お家や汽車やトンネルなどを作つて遊ぶのである。

ヘ 陸上ボート これはフレイベル館發賣のものを買ふたのである、三人乗りて數人曳くやら押すやらして遊ぶもの故、これ一つの器でなかく多くの人を遊ばせることが出来る。

ト シーンソー これは俗にいふきいこばつたんである一臺八人位遊ぶことが出来るが往々怪我をするので危険である、監督者が付いて居らない時には使用させぬがよい。

二、個人にて使用するもの

1 競争的に屬するもの

イ 目方俵(力俵と稱す) 持ち運びて又は

上下に支へて遊ぶものである力をためしたりすることも出来る。

2 單獨にて遊ぶもの

イ ブランコ 高さは八尺を超えてはなら

ぬ、七尺位の低きもので一臺に數人用ひらるゝ様にしつけるがよろしい綱は鎖よりは麻糸がよい様である、そして朝夕とりはづしが出来る様にした。

ロ 迂り臺 高さは五尺位をよしとし勾配は緩急二種ある方がよい様である。

ハ 旗。

ニ トロツコ これは石や土や器具をのせて引き回す車である時に幼兒を乗せたがることもあるが往々危険が伴ふからそれはさせぬがよい。

第二、室内外に於ける運動器具

一、團體的に使用するもの

1 競争に屬するもの

イ 綱引。

ロ 輪投。

2 協同的に屬するもの

イ 毬。

ロ 大積木

ハ 室内シーソー 二人にて向ひ合ひて乗るもの、これを使用する時には監督者がついて居るとよろしい。

二、個人にて使用するもの

1 競争に屬するもの

イ 金輪 使用法如何によりては團體的に用ひることも出来る。

2 單獨にて遊ぶもの

イ 迂り臺 室内用として、仕組みはつしの出来るものがよいフレーザー館製のものなど案外安價であるからよろしい。

ロ 毬 これは用法如何によりては團體的にもなる由來毬用法は範圍極めて廣く幼兒にとりて實に有益な玩具である。

ハ 室内ブランコ これは鴨居から下げ得

らるゝ簡單なものが最もよろしい。

以上は極めて大體の調査であるがこれは研究を積めは實に有益な又極要な問題であらふと思ふ他日機會を得て發表する事があらふ。

◎雨天の際室内に於ける遊び方につき其の良法承りたし  
(喜多方幼稚園提出)

雨天の際に於ける遊ばせ方については何處の幼稚園にても困つて居るといふことは今更に申送もない事である活動的なる可憐の幼兒を雨のため終日閉ちこめて天真の性狀を發揮せしめずにおくといふことは、誠に保育の任にあるものゝ忍びがたきことであるがさればとて彼等の活動に任せて跳奔飛躍をほし、にさすることゝも躑上よりはた規律の上より決して喜ぶべき現象ではないよろしく方法を講じて良法を案出すべきものであらふと思ふ。そこで我幼稚園では左の如き方案の下に現に實施しつゝあるものがあるから参考のために種類と注意とを列擧して

見やう。

一、室内あそびの種類 其種類に至つては随分多くあらふけれども重なるものを擧ぐると次のやうである。

1 男幼兒の遊び 兵隊ごっこ、樂隊ごっこ、毬なげ、角力あそび。

2 女幼兒の遊び 毬つき、お手玉、雛様あそび、飯事あそび。

3 男女幼兒共通の遊び 改良二り臺、室内シンナー、室内ブランコ、椅子とり、輸入れ、綱引、繩とび、旗取り、力競べ、毬がくし、鬼ごっこ、かごめく、子をとりく、地藏さんかへ、電報あそび、猫屋ごっこ、繪本を見る、黒板畫き方、學校ごっこ等。

二、遊び方の分類 これを分類すると器具及玩具を使用するものと、せざるものとの二つとすることが出来る。

1 器具及玩具を使用する遊び

イ 男幼児のあそび 兵隊ごっこ、樂隊ごっこ、毬なげ。

ロ 女兒のあそび 毬つき、お手玉、雛様あそび、飯事遊び。

ハ 男女共通のあそび 改良三り臺、室内シ  
ーソー、室内ブランコ、綱引、旗取、椅子  
とり、輸入れ、繩とび、黒板書き方、飯事  
遊び、力くらべ、繪本を見ること、○蓄音  
機を用ひて一同に傾聽せしめ或はその機械  
によつて運動せしむ。

等でこれに對しての注意は次の如くである。

イ 器具又玩具の使用の取扱ひ方は、十分に  
知悉せしめおく、かゝることによつて他人  
のものは丁寧にせねばならぬといふ精神が  
養はれる。

ロ 保母はよく指導しよく監督をせねばな  
らぬ。

ハ 弊害に陥らざる限りは干渉することなく

幼児をして自由に活動せしむること。

かゝる際に幼児の個性は觀察され保育の目  
的は貫徹される。

ニ 使用後は必ずよく始末せしめ整頓の思想  
を養はしむ。

2 器具を使用せずしての遊び この遊びは大  
抵男女共通のものである只角力あそびだけは  
男子の特有であるがこれとて女子を觀覽者と  
して中々に遊ばれる。

鬼ごっこ、子をとろく、かごめく、地藏  
さんかへ、電報ごっこ、兵隊ごっこ、天子様  
ごっこ、猫屋ごっこ。

等でこれに對しての注意は次の如くである。

イ ある程度迄は遊び方を指導するを要す。  
ロ 弊害に陥らざる限りは干渉することなく

幼児をして自由に活動せしむ。

ハ 幼児のあそびに保母が加はるはよけれど  
保母が中心とならざるやうにする。

三、幼兒の好むあそび 以上のやうに二十七種からのあそびをあげたが我幼稚園の幼兒が如何なる遊びを最も好むかといはゞ改良にり臺、綱引毬つき、毬なげ、毬かくし、黒板に書き方、繪本を見ること、兵隊あそび、角力、かごめく、地藏さんかへ、鬼ごっこ、輸入れ等である。

## ▲研究題に對する意見▼

### 二本松幼稚園

研究題に對しては成るべく口述によりて意見を發表したき考なれども都合により要領を摘記して口述に代へ申候

1 祝祭日及滿了式等に儀式を行ふに方り兒童本位になさんとするには凡そ左の條によるべきものと考ふ。

(イ)式場の裝飾をなるべく壯嚴に或は優雅に爲すこと、(ロ)訓辭は成るべく簡單にして趣

味あらしむる様話材と話振に注意すること、(ハ)成るべく短時間に終了すること、(ニ)式後尙興を添ふる爲記念品を與へ時々遊戯唱歌等を催すこと

2 保母の年齢上に於ける長短得失は凡そ左の如きか

イ 年若き保母の長所 1 概して活動性に富めること、2 未だ稚氣を脱せざるため幼兒の心情に共鳴し易きこと、3 以上の特質により幼兒より親まれ易き傾向あること。

ロ 同上短所 1 深慮に乏しく用意周到ならずして躑上に定見を缺き易きこと、2 幼兒に過失の起り易き傾きあること。

1 年長けた保母の長所、(イ)用意周到なること、(ロ)父兄母姉の信頼厚きこと、(ハ)躑上主義の確立せること。

2 同上短所 (イ)動もすれば活氣乏しくなること、(ロ)幼兒の性情に遠かり徒に世話焼に

過ぐる傾あること。

3 幼児に對し全然方言を矯正せんとするは不可能なるべく但方言中の卑言はなるべく早く矯正するを可とす 假へば女兒などが自分のことを「おれ」といひ人のことを「にしゃ」などと稱する如き或は長者に對して應答するとき「はい」といふべきを「うん」といひ「さうだ」などといふが如きは是なり其他發音の訛りは早くより矯正する必要あり殊に本縣にては「し」と「す」、「い」と「え」、「ち」と「つ」の如き之なり之等は特に發音練習をなすを可とせん。

4 積雪の場合に於ける遊園の利用法として幼児の事故余り鍛練の事も致し難ければ先づその利用法としては左の諸方法かと思ふ。

(イ) 幼児を手傳はしめ雪達磨を造りて賞翫すること、(ロ) 雪玉を造り與へ目的に對して雪投げをなさしむること等。

5 服裝の標準につきては未だ十分に研究したる

考案もなければども凡そ左の條件に準據することにしては如何と思ふ。

(イ) 男女兒とも白の前掛を用ふること、(ロ) 袴は式日の外は可成用ひしめぬこと、(ハ) 肌着は緩なるものを用ふること、(ニ) 帽は炎天又は禮装の場合の外成るべく用ひぬを可とすること、(ホ) 「マント」は仕立方を改良したき事、(ヘ) 足袋は寒氣強き季節の外可成用ひざるを可とすること(男兒は殊に然り)。

6 幼稚園に於て設備すべき運動器械につきても未だ十分なる實驗を有せず唯從來使用し來れる主なる器械につきては凡左の如く考へ居れり。

(イ) 「ブランコ」は室内室外共に可なり(效果全身運動—快活)、(ロ) 木馬(效果全身運動—活潑)、(ハ) 綱引(效果全身運動—殊に腕—活潑、協同)、(ニ) 紅白の大輪(效果手足ノ運動—快活)、木銃ト背囊(效果全身運動—活潑) シングルベルス(效果全身運動—快活、協同)

其他幼稚園に設備し有效なるべしと思はるゝは

(イ)立棒、(ロ)吊繩、(ハ)階段、(ニ)大砂場、  
(ホ)固定手均臺等とす。

7 幼児の「トラホーム」につきては園醫に特別治療を請ふか或市内の醫師は園兒小學兒に限り特別廉價の治療をなすべく協定するを可とす(二本松町にては園兒小學兒童に一回の治療費金參錢の定なり)濕瘡の如きは坐席を隔離すること手拭運動帽の共用を禁ずること「シラクモ」も之に準ずること但此兩者に對しては園醫に請ふて塗薬を用意し毎日塗り與ふるを可とす。

8 幼稚園等にて飼育し易き動物は先づ兎ならんか但未だ經驗したるにあらず。

○編輯だより

△いよ／＼、本年最終號たる十二月號の編輯を終りました。何うしたものが本年は無據事情の突然することが多くて數回に亘り發行日を遅延せしめたことは深くお詫びを致さなければなりません。紋切型ではありますが記者はこの年末に際して特に明年度からの新しき努力奮進を聲明して置きたいと思ひます。

△毎に讀者の渴仰の中心となつて來ました菅原先生の「色彩の心理」はいよ／＼本號で一先づ切り上げることとなりました。先生は尙その材料の大部分をお残しになつて居るのでありますが御多忙中を大層長く御執筆下さいましたし又雜誌の巻數も改まりますので惜しき御講義の續講を無理にお願ひすることが出来なくなつたのであります。しかし先生には來年も筆硯を新にして大いに本誌のために御盡力下さるさうでありますから先生によつて増す所の本誌の光彩の失はれる憂ひは毫も無之ことゝ信するのであります。(記者)